

第14回 立川市通学路安全対策検討委員会（若葉町地区）

日時：令和2年7月14日（火） 18:30～19:30

場所：若葉台小学校

出席者：広瀬委員（立川市シルバー人材センター）

井土委員（若葉台小学校校長） 下田委員（小学校保護者）

杉浦委員（市学務課） 荒井委員（市学務課）

事務局：石井（市学務課）

議事 1. 意見交換

1 学期の振り返り

2 学期以降および来年度（新校舎移行後）の登下校の安全確保について

2. 今後の予定

議事要旨

1. 意見交換

- ・平成30年4月に若葉小学校とけやき台小学校が統合した。
- ・令和3年4月の若葉台小学校新校舎（けやき台小学校跡地に建設中）完成まで、旧若葉小学校校舎を使用。
- ・通学区域変更に伴い、旧学区の境界線であった五日市街道を中心に交通ルール指導員（立川市シルバー人材センターに委託）を定点配置し、児童の登下校の見守りを実施。
- ・当委員会において交通ルール指導員の配置等を決定し、状況に合わせて配置箇所や時間調整を実施している。
- ・令和2年度は交通ルール指導員による見守り事業開始3年目となる。

●1学期の振り返り、2学期以降の課題について

〈A委員〉

- ・7/6にシルバー会員で会議を設けた。会員からは業務の内容について特に申し入れはなし。
 - ・今後、熱中症対策として児童が集中する時間帯を除きマスクを外す時間を設けたい。
- 一同了承。
- ・8月24日以降は地域の見守りボランティアも再開する。

〈B委員〉

- ・新型コロナウイルス感染症の影響で、当初イレギュラーな登校となったが、交通ルール指導員の配置等柔軟に対応されており、ありがたかった。
- ・2学期はこれまでに経験のない時期に開始するため、児童にとっても交通ルール指導員についても想定外のことが起きる可能性がある。対策を取られたい。

〈C委員〉

- ・事故はないが、けやき台小前交差点で、児童の通行の仕方について通行人からの苦情があった。
- ・現状、けやき台小前交差点は交通ルール指導員を配置していない。来年度以降、児童の通行の流れが変わるので人員配置の見直しが必要。
- ・若葉大通りと比較し、府中道からずかずかけ通りは交通量が非常に多い。

●来年度（新校舎移行後）の登下校の安全確保について

- ・新1年生、新2年生の住所分布、通学路上で保護者が危険と感じる箇所を複合し、新校舎移設後の要見守り箇所の洗い出しを行う。
- ・洗い出した要見守り箇所を基に、交通ルール指導員による見守り事業と合わせ、ハード、ソフトの両面から地域として児童の登下校の安全確保方策を検討する。
- ・令和3年3月15日に模擬登校を実施。
- ・令和3年度予算要求に向けて、2学期中（9月頃に）に次回開催する。

〈事務局より〉

議事要旨

- ・令和3年度予算要求までに若葉町安全対策について方針を決定したい。
- ・当委員会はこれまで毎学期末に開催してきたが、2学期中ごろに追加で開催したい。
- ・市としては、交通ルール指導員による見守り事業は3年間を一つの区切りとして実施してきた。学校が移転するまでの期間を目安に3年間としたが、過去の統合説明会や当委員会において明確に見守りを実施する期間について述べていない。市担当者としても、新校舎移行後も検討しながら事業の実施を継続するであろうという感覚でいた。
- ・見守り事業実施期間については、平成29年8月3日に開催した第5回当委員会において、委員より「開校後5年間は交通ルール指導員の配置を要望する」意見があり、市は「全ての要望をかなえられるわけではないが、重く受け止める」旨の回答をしている。

(B 校長)

- ・地域としては新校舎移設後も継続して見守りを実施するものと認識しているがどうか？
- ・統合時の保護者が危惧していたのは人間関係と通学路を変更することによる安全確保であり、非常に多くの意見や質問があった。新校舎移設後、旧若葉小の児童が新校舎への通学に慣れるまで実施するという前提が保護者間にあったと了解している。
- ・いつまでも見守り事業が継続するとは地域も保護者も考えていないが、丁寧な対応、協議が必要。
- ・通学路は指定するが、どの経路を選ぶかは家庭の選択。経路までを指定することはできない。
- ・現状と同程度の人数が確保できるよう予算要求してほしい。

(D 委員)

- ・本日の検討委員会で学校移転前からの協議内容についてお聞きする中で、これまでの協議は新校舎移設後までを含めたものだったと思う。新校舎移設時に見守り事業を全く実施しないことは難しいと感じているが、今後いつまで、どこまで対応が必要なのか、協議が必要。

(B 委員)

- ・危険箇所については、保護者に地図に書き込んでもらう形で情報収集する。集計して8月には市へ提供できる。

(A 委員)

- ・指導員の高齢化が進んでいるため、来年度以降に同様の事業を実施するためには体制の作り直しが必要。
- ・現在は25人体制で、登校時は12名、下校時は10名を配置。会員によっては勤務できる時間帯に制限があり、調整にあまり余裕はない。登下校ともに勤務できる会員は18名程度。
- ・配置の見直しは必要と考える。若葉大通り、五日市街道、すずかけ通りそれぞれにどの程度配置するかにより、会員の人数を確保できるかが課題になる。
- ・下校時については、見守りボランティアと連携して行うことで事業の継続は可能。

議事要旨

2. 今後の予定

第15回 立川市通学路安全対策検討委員会（若葉町地区）9月開催

令和3年度新1、2年生の住所分布及び保護者が危険と感じている箇所をまとめた資料を作成し、開催前に、指導員配置を含めた令和3年度の若葉台小学校登下校における安全確保方策案を提示する。

第15回当委員会では令和3年度予算要求に向け検討する。